

# 令和5年度 社会福祉法人あぶくま福祉会

## 生活介護事業所 だての郷事業報告

### 1. 概要

法人の基本方針や理念に基づき、利用者の個性や人格を尊重し、個人の特性に応じた利用者主体の支援に努めサービスを行ってきた。利用者の日中活動の場として、個々が豊かで活力のある生活ができるように努めた。障がいの重い利用者が多い現状を踏まえ、行事等においては利用者を2班に分け、それぞれ班ごとに主担当、副担当の職員を配置し、さらに、行事によっては班をグループに分けて支援し、サービスの充実に努めた。日常生活に関しは、感染症の予防対策をするとともに、保護者との連絡を密に個別面談により利用者の状態や様子を確認し、支援内容を工夫した。

また、各市町や医療機関、福祉関係機関との連携をとりながら、利用者の安全を最優先に支援を行った。さらに、地域生活支援事業として、平日夕方の延長預かりや休日の支援等、家族の要望に応じた福祉サービスにも積極的に取り組んだ。

### 2. 利用者の状況 (令和6年3月31日現在) 定員30名 実人員27名

利用者数 男19名 女8名 合計27名

市町村	男	女	合計
伊達市	10名	3名	13名
桑折町	3名	3名	6名
国見町	2名	1名	3名
福島市	3名	1名	4名
川俣町	1名		1名
合計	19名	8名	27名

年齢/性別	男	女	合計
20歳未満	1名		1名
20歳代	1名	1名	2名
30歳代	2名	1名	3名
40歳代	14名	5名	19名
50歳代	1名	1名	2名
60歳以上			
合計	19名	8名	27名
平均年齢	41.3歳	41.8歳	41.4歳

### 3. 職員の状況

施設長1名、管理者(兼次長・サービス管理者)1名、支援員15名(正職員1名 無期職員1名 兼務正職員2名 嘱託・臨時5名 パート4名 シルバー2名)、事務員1名(兼務) 看護師1名(嘱託)、嘱託医1名

### 4. 主な事業の実施状況

#### (1) 支援事業の実施

利用者個々の特性や意思を尊重し、日常生活や社会生活に適応できるような支援を心がけた。具体的には、毎日の歩行やラジオ体操、軽作業である部品の解体や分別等を通して機能の維持回復を図りながら社会との繋がりを保ち、余暇では音楽やビデオ鑑賞、読書、パズル、塗り絵、工作等により、安定した気持ちで過ごせるように努めた。また、その時々々の事業や行事は、人混みを避けるなど感染対策を施し、

ミニドライブによる季節の花が咲く場所の散策や紅葉狩り、つるし雛見学、体を使って楽しむにこにこフェスティバル、スポーツ・レク大会の開催、リンゴを自分で採いだ果物狩り、歴史文化施設の見学や足湯を体験した社会体験会など、行事内容を季節に合わせて工夫した。

## (2) 利用者出勤状況

開所日数	251日	(前年度242日)
平均利用日数	223日	(前年度214日)
年間出勤率	86.2%	(前年度88.6%)

## (3) 地域生活支援事業の実施

地域福祉サービスとして、平日夕方の預り延長や土曜日の日中一時支援事業を行った。また、サービス内容が保護者の要望に沿えるように、質の向上を図り、利用者が安心して過ごせるよう支援した。

「日中一時支援事業利用者数」

年間開所日数(平日)	240日	(前年度229日)
(第2第4土曜日)	15日	(前年度19日)
年間延べ利用者数	1,171人	(前年度1,036人)
1日当たりの利用者数	4.6人	(前年度4.1人)

## (4) 健康及び安全対策

利用者の健康を守るため、定期健康診断や内科検診、毎月の血圧や体重チェックの実施、コロナやインフルエンザ感染予防として、日々の手洗い、消毒、うがい、マスク着用、検温、みだしなみ教室等により健康や衛生管理に努めた。施設的生活では、毎日の歩行とラジオ体操、月1回ダンス教室を行い、体力の維持と健康増進に努めた。

また、日々の連絡帳により家庭との連絡を密にし、その時々々の健康状態や衛生管理に気を配った。

昼食は施設内で調理し給食を提供しており、バランスが取れた献立で健康の維持に努めた。

安全対策は、交通安全教室を行い、伊達警察署の協力でシュミレーターにより時間や天候によって変わる交通量や道路環境の違いを学び、施設前庭に信号機や横断歩道を設置して実際にわたり方等を体験し、合同避難訓練では、伊達消防署の協力で消火器を使っての消火活動や避難の仕方等を体験した。

施設内の安全管理については、施設内外それぞれの場所の点検管理を職員が分担し、日々の点検から安全確保、環境整備を行っている。また、毎月、起こりうる災害を想定しての避難訓練を行った。

## (5) 感染症予防対策

コロナは5月に5類に移行したとは言え、感染者が少なくなったとは言い難く職員、利用者、保護者を含めて感染予防の協力と注意喚起を行った。また、施設でのワクチン接種を6月と12月の2回行った。

最近、季節に別なくインフルエンザの流行もあることから、常に注意しながら支援

を行った。

#### (6) 職員研修

主な研修は、県社協主催の職務階層別研修である中堅職員研修に2人、キャリアパスチームリーダー研修に1人、メンタルヘルス研修に1人、オンラインであるがリスクマネジメント（ハラスメント防止）研修に1人、同じくオンラインで意志決定支援研修に1人参加した。施設内研修として、福島市虐待防止センターから講師を招き、虐待防止と人権擁護の研修会を開催し、職員の資質向上に努めた。

#### (7) 公益的な取り組み

中瀬町町内会に加入し、地域住民との交流をもち、公益的な取り組みとして町内会活動に参加し、路肩周辺の草刈、集会所の清掃を行った。また、歩行時に休憩にしている神社や公園のゴミ拾いを行った。

### 5. 令和5年度に行った主な行事・事業等

月	主な行事・事業等
4月	20日JAから苺贈呈 27日～28日春の歩こう会
5月	9日保護者会役員会 15日保護者会総会 26日サツマイモ植え 31日にこにこフェスティバル（魚釣り大会）
6月	19日コロナワクチン接種 19日～30日支援学校実習生受け入れ 26日～29日外食体験 31日両施設合同保護者会役員会
7月	13日JAから桃贈呈 21日創立記念日ジェラートのつどい
8月	2日JAから桃贈呈 28日～9/1日社会体験会
9月	13日保護者会役員会 20日交通安全教室
10月	3日～13日グループ活動（りんご狩り、道の駅見学、昼食購入体験） 11日両施設合同避難訓練 23日みだしなみ教室 24日健康診断 25日サツマイモ掘り 31日～11/2日秋の歩こう会
11月	6日～12/8日個別面談 15日スポーツ・レク大会（保護者参加） 24日人権擁護、虐待防止研修会
12月	2日コロナワクチン接種 22日クリスマス会
1月	5日初詣 12日新年を祝う会（保護者参加）、保護者懇談会
2月	3日節分の豆まき すし竹から寿司贈呈 22日にこにこフェスティバル（ゲーム大会）
3月	22日みだしなみ教室 25日内科健診
毎月	報奨金支給 誕生会 避難訓練 ダンス教室 ジュース購入 ミニド ライブ 広報紙「だての郷通信ひびき」発行 職員会議（毎週木曜日） ホームページ更新
毎日	朝の会 歩行 給食提供 ラジオ体操 帰りの会 個別送迎